

市発注CCUS受注者向けサポートセミナー(発注者同席型)を開催

新潟市都市政策部技術管理課
R7.1.17開催

【セミナー概要】

新潟市ではCCUS活用モデル工事の試行は、初の試みであることから、一般財団法人 建設業振興基金から講師を招き、市主催でCCUS活用モデル工事の受注者(元請企業、下請企業)を対象に**CCUSの概要、運用のポイント**等のセミナーを開催しました。概要等の説明後、現場運用方法を実際にPCを使い、実践形式で**事業者登録等**の入力を行いました。

【R6 CCUS活用モデル工事】

工事番号	工事名	受注企業
東土第11号	主要地方道新潟村松三川線(松浜橋)橋脚部局所洗堀対策工事	(株)皆川組
西土第29号	一般国道402号魚見橋橋梁補修工事	藤木鉄工(株)

【CCUSの基本】

- ・技能、経験に応じた適切なステータスと処遇を実現
- ・若い世代が将来の見通しを持って入職しやすい環境を作る
- ・技能者を雇用し育成する企業が伸びていける建設業を目指す

【建退共電子申請化とCCUSの連携】

建退共の電子申請方式の導入に伴い、公共工事における適正履行と一体でCCUS活用を促進

【デジタル化による利便性向上・業務の効率化】

施工体制台帳、再下請負通知書など安全書類へのデータ連携による効率化

【発注者支援機能による効率化】

CCUSの利用状況、週休2日達成状況など発注者が確認できる

【参加者からの意見や感想】

- ・操作が難しいイメージがあったが、説明を聞き、思っているよりも分かりやすい操作方法でした。
- ・今まで何度も同じような書類を作成し、PDF等へ変換、CALS登録が必要だったが、CCUSへ登録することで業務の効率化が図れると感じた。
- ・施工体制台帳、作業員名簿が出力できるが、発注者が求める注文書、請書等は登録できないようなので施工体制台帳書類としては中途半端だと思った。
- ・このようなセミナーは一般的に話を聞いただけが多いが、今回はパソコンを持参し、実際に触れて操作することができたので良かったと思う。
- ・実際の操作方法を聞いて良かった。
- ・作業員にとっては良いシステムだと思う。
- ・市のモデル工事計測日の具体的な説明があって分かりやすかった。



<新潟市の指標、目標基準>

登録事業者率：CCUS登録事業者の数 / (元請企業 + 下請企業) の数
 登録技能者率：CCUS登録技能者の数 / 技能者の数
 就業履歴蓄積率：建設キャリアアップカードのカードリーダーへのタッチ等をして工事現場へ入場した技能者の数 / 工事現場へ入場した技能者の数

平均登録事業者率：登録事業者率の計測日における登録事業者率の平均値をいう。
 平均登録技能者率：登録技能者率の計測日における登録技能者率の平均値をいう。
 平均就業履歴蓄積率：就業履歴蓄積率の計測日における就業履歴蓄積率の平均値をいう。



登録事業者率：CCUS登録事業者の数 / 計測日に作業した(元請 + 下請企業) の数
 登録技能者率：CCUS登録技能者の数 / 計測日に作業した技能者の数
 就業履歴蓄積率：建設キャリアアップカードのカードリーダーへのタッチ等をして計測日に工事現場へ入場した技能者の数 / 計測日に工事現場へ入場した技能者の数

成績評定の加点基準

指標	目標基準
① 平均登録事業者率	70%
② 平均登録技能者率	60%
③ 平均就業履歴蓄積率	30%

計測対象を計測日のみで完結